

■第4回新居浜市長期総合計画審議会議事概要

業 務 名	新居浜市長期総合計画策定業務	
会 議 名	第4回新居浜市長期総合計画審議会（第2分科会：環境調和・健康福祉）	
日 時	平成22年8月12日（木） 15：00～15：25	
場 所	市民文化センター別館3階第1中会議室	
参 加 者	委員 7（名）渡邊会長、秦副会長、石井昂孝允委員、大橋委員、小林委員、佐々木委員、関委員	
事務局	市 9（名）	
議 事 内 容	開会 議事1 前回分科会意見に対する対応等について	
質 疑 応 答	委員	100歳以上の所在不明問題について、神戸市の状況を見てみると70件ほどの不明者が確認されているところであるが、これが80歳以上となるともっと数が増えるのではないかと思う。100歳になる際には市長がお喜びに行くなど必ず会うことになるが、それ以外の部分になると手ばかりがあるのではないかと思われる。
	事務局	満99歳になる方のお宅を市長が訪問することとなり、市長が行けない方については、担当課の方で記念品等を配ることで対応している。100歳以上の方について住民票がある方すべて確認をとっているかということになると確認が取れていないのが現状である。ただ、75歳以上の後期高齢者医療の保険証を毎年更新しているところであるが、制度が開始された際に、保険証が届かず市に返送されてきたものについては、実態調査を行い5、6件は職権にて住基を抹消したという話は聞いている。このように、実在しないところに住民票を置いているものについては職権で抹消することはあるのだが、実態的には、選挙の際に入場券を郵送しているところであるが、返送されてきた入場券については実態調査が出来ていない状況であり、住民票を置いて失踪したことなどの最終的な把握はできていない。このことについては、個人情報、戸籍、福祉の絡みがあることから、今後厚労省・総務省・法務省が連携して一元化した動きをしていただければ市としても動きやすいと思われるが、現在のところは何も示されていないのが現実である。また、すべての方の安否確認ということになると、かなりの事務量の増加も予想される。
	委員	61ページの成果指標の国民健康保険料の徴収率についてで

		あるが、H20年度から0.4パーセント下がっているとのことだが、最近ニュースでは国民健康保険料の徴収率がものすごい勢いで低下してきており、特に20代30代の方に顕著に見受けられると報道していたが、新居浜市では何らかの対策はしているのか。
	事務局	徴収率については国保に限らず保育料についても徴収率は低下してきている。市の対策としては今年4月から債権管理対策室を立ち上げ、その中で、国保料10件、保育料40件を差押する方向で進んでいる。そのPR効果によって、今まで支払わなくてもよいという感覚から支払わないと大変なことになるという感覚にもっていかねばと考えている
	秦委員	給食費についても併せて対応を考えていただきたい。
	事務局	分かった。
議事内容	議事2 その他	
	委員	医療費通知が送られてくるのだが、送ることについては法律で決められているのか。通知をもらっても保険を多くつかっているのに病院に行くのを控えようということにはならないようなことにもなっていないと思われる。このようなことに費用を使うのならば、もっと効果的なものに使う方が良く考える。
	事務局	医療費通知については国民健康保険の医療費適正化事業の一つとして実施されているものであり、必ずしも義務づけられているものではないと思われるが、自分が医療費をどれくらい使っているかという実感が無いということで通知しているものであり、今後その費用対効果についても考えていく。